

大学

CG制作演習Ⅰ

鈴木 清重 講師、吉川 遼 助教

人間情報学部 人間情報学科

DTPの基礎を学ぶと共に、
人に伝わる情報発信についても追究。

出版・広告物の編集やデザインなどをパソコン上で行う「DTP（Desktop Publishing）」。その基本的な知識・技術を学ぶ「CG制作演習Ⅰ」では、画像・图形処理、2次元コンピュータグラフィックスの編集・加工などの基礎技能を修得します。指導教員の鈴木先生が授業に取り入れているのは、課題制作や発表会・講評会です。名刺、ポストカード、イベントのチラシといった課題に対し、学生は作品制作に取り組むだけでなく、「人にどう伝わるか」という観点から互いの作品を客観的に評価。よりよい表現方法を学び合います。鈴木先生はこの演習で得た基礎スキルが今後の研究・制作に役立つでしょう。さらに、より使いやすいDTPソフトの開発という方向にも、関心を広げてもらえたうと思思います」と学生の向学心や向上心に期待を寄せていました。



愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

中学校

総合学習

伊藤 智子 教諭

愛知淑徳中学校

今の自分を知り、めざす未来を描く。
人生を主体的に歩むための学びを実践。

愛知淑徳ではホームルームや総合学習の時間を大切にしており、クラスごとに特色ある活動に取り組んでいます。伊藤先生が担任する中学2年生のクラスでは、進級して間もない4月に「自分の時間」はどれくらいある?『中2』の時間是有意義に過ごすために」というテーマで総合学習を実施。生徒は一人ひとり、一週間の自分の生活をプリントに書き出して可視化し、「やりたいことと、やらなくてはいけないこと」「こうありたい自分と、実際の自分」を確認しました。伊藤先生は「毎日の時間をどう使うか、まずは自分と向き合い、他の誰でもない自分自身の目標を立てて、『いつまでに・何をするか』という道のりを描きましょう」とアドバイス。学校生活や進路選択、さらに将来の仕事や人生設計などあらゆる場面で活きるプランニングの手法を伝え、自分の道を切り拓く力を育んでいます。

